

レジオネラ症 について

レジオネラ症とは、レジオネラ属菌という細菌によって起こる感染症です。

高齢者、乳幼児、免疫力が低下している人が感染するリスクが高く、過去に家庭用の超音波式加湿器が原因でレジオネラ肺炎を発症し死亡した事例もあり注意が必要です。

レジオネラ属菌とは

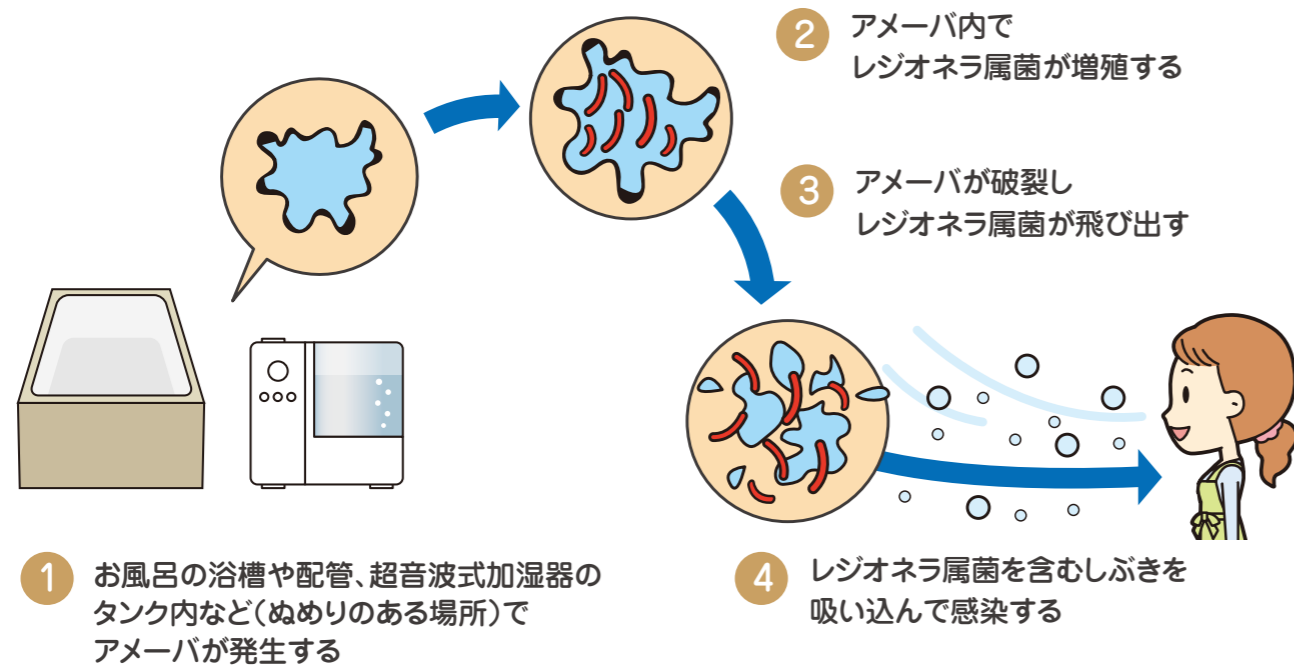
- 土の中や河川、湖沼など自然界に生息している細菌
- 浴槽の排水口などにできる「ぬめり」の中でアメーバに寄生し、増殖
- 36℃前後が最も増殖に適した温度で、お風呂や加湿器内でよく増殖する
- 70℃で5秒、60℃では5分で死滅

土の中にもいるから庭仕事や農作業中に土ほこりを吸い込んで感染したと疑われる事例もあるんだ！



感染経路

- レジオネラ属菌を含むエアロゾル(霧状の水)や土ほこりを吸い込むと感染する
- 人から人へは感染しない



症状

急激に重症化し死亡することもある「レジオネラ肺炎」と、発熱のみで肺炎には至らない「ポンティアック熱」に分けられます。

レジオネラ肺炎の症状



どうしたらいいの？

- 浴槽の湯は、毎日交換する
- 浴槽や浴室内は、汚れやぬめりが生じないように毎日清掃する
- 定期的に追い炊き用配管の洗浄を行う
- 超音波式加湿器を使用する際は、タンクなどはこまめに洗浄し、長時間水を入れたままにしない

高齢者、乳幼児、免疫力が低下している人は注意が必要だね



公衆浴場の浴槽水のレジオネラ属菌の基準値は100ml中10個未満と定められています